



アデコ 2013 年第 4 四半期は堅実な結果に

- 2013 年第 4 四半期は売上が回復し、営業レバレッジ(*)が堅調 -

[2014 年 3 月 12 日 スイス、チューリッヒ]

2013 年度 第 4 四半期ハイライト (前年同期比)

- **売上高** 前年比 4%増 (為替変動の影響を除く)
- **粗利率** 50bps 増の 18.3%
- **販売管理費** 1%増 (事業再編費用と為替変動の影響を除く)
- **EBITA 利益** 30%増の 2 億 3800 万ユーロ (事業再編費用と為替変動の影響を除く)
- **EBITA 利益率** 90bps 増の 4.8% (事業再編費用を除く)

2013 年度ハイライト (前年度比)

- **売上高** 前年比で 5%減の 195 億ユーロ (M&A や為替変動の影響を除き 1%減)
- **粗利率** 40bps 増の 18.3%
- **販売管理費** 1%減 (事業再編費用および事業統合費用、M&A や為替変動の影響を除く)
- **EBITA 利益** 8 億 5400 万ユーロ (事業再編費用を除く)
- **EBITA 利益率** 事業再編費用を除き 4.4%、
前年比の事業再編費用および事業統合費用を除き 40bps 増
- **当期純利益** 48%増、一株当たりの利益は 54%増
- **2013 年度の期末配当案は一株あたり 2 スイスフラン (昨年比で 11%増)**

2013 年度の主な数値

単位： 100 万ユーロ	13 年度 報告数値	13 年第 4 四半期 報告数値	13 年度 M&A や為替変動の 影響を除いた成長 率	13 年第 4 四半期 M&A や為替変動の 影響を除いた成長 率
売上高	19,503	4,983	-2%	4%
売上総利益	3,560	913	0%	7%
EBITA (金利支払い前・税引き前・営業権償却前利益)	854	238	9%	30%
EBITA (金利支払い、税引き、営業権償却前利益)	821	221	18%	61%
営業利益	779	210	21%	66%
当期純利益	557	174	-	-

人財サービスのグローバルリーダーであるアデコグループ (本社：スイス) は本日、2013 年度第 4 四半期ならびに 2013 年度の決算発表を行いました。2013 年の売上高は M&A や為替変動の影響を除き、1%減の 195 億ユーロとなりました。粗利率は前年比で 40bps 増の 18.3%となりました。販売管理費は厳格なコスト管理により、M&A と為替変動の影響、事業再編費用と事業統合費用を除き 1%減となりました。2013 年度、アデコは利益率が向上し、2012 年の事業再編費用および事業統合費用を除く EBITA 利益率より 40bps 増となる 4.4%の EBITA 利益率を達成しました。健全なキャッシュフローとバランスシートにより、2013 年度の期末配当案として前年比で 11%増の 2 スイスフランを提示しました。

以下は CEO、パトリック・デ・メスネールのコメントです。

「2013 年、特にヨーロッパでは不確定な状態で年度が開始しましたが、慎重ながら楽観的に捉えており、1 年を俯瞰すると、通年で徐々に回復した年となりました。2013 年の第 1 四半期には、ヨーロッパ全域で為替変動の影響を除き売上が減少しましたが、第 4 四半期には特にベネルクス、イベリア、ドイツとオーストリア、イタリアの好業績によりヨーロッパにおける売上は 5%増加しました。2013 年度は、フランスで高生産性、雇用を優遇する税制の影響とプライシングの管理により利益率が飛躍的に向上しました。北米では好調な売上と高収益性により、堅調な結果となりました。新興市場においては通年で成長が継続しました。アデコグループにおいては、2013 年第 4 四半期は特に満足のいく結果となり、売上が 4%増加し、事業再編費用と為替変動の影響を除いた EBITA 利益は 30%増となりました。アデコは営業レバレッジ(*)を重視し、2015 年度の EBITA 利益率 5.5%達成のために注力していきます。着実に進めている 6 つの事業戦略と、好調な市場状況が続くことで、この目標が達成できることを確信しています。

2013 年度の期末配当案として前年比 11%増の 2 スイスフランを提示しました。配当性向は調整後の税引後利益に対し 47%となります。これは 2013 年度の健全な業績とバランスシート、見通しが明るいという確信によるものです。」

2013 年第 4 四半期の日本の状況

売上は為替変動の影響を除き 3%減の 2 億 7000 万ユーロとなりました。日本で最も大きな売上の割合を占めるオフィスは為替変動の影響を除き 5%減となりましたが、IT & エンジニアリング部門の成長により相殺されました。売上は減少しましたが、利益率は回復しました。EBITA 利益は 1700 万ユーロとなり、EBITA 利益率は前年同期の 5.5%から 6.4%となりました。

(*) 営業レバレッジ： 売上高の成長率以上に営業利益を増加させること